

三〇九五番

朝あさ鳥がらす 早はやくな鳴なきそ 我わが背せ子こが 朝あさ明けの姿すがた
見みれば悲かなしも

三〇九六番

馬うま柵せ越こしに 麦むぎ食はむ駒こまの 罵のらゆれど なほし恋こひ
しく 思おもひかねつも

三〇九七番

さ檜ひのくま隈ま 檜ひのくま隈ま川がはに 馬うま留とどめ 馬うまに水みづかへ 我われよそ
に見みむ

三〇九八番

おのれ故ゆゑ 罵のらえて居をれば 青馬あをうまの 面高おもたか夫ぶ駄だに
乗のりて来くべしや